

# いじめ問題、奨学金などで審査 9月議会、常任委員会審査スタート

9月定例議会が1日から始まりまし  
た。初日は市長による提案理由の説  
明、総括質疑などが行われました。2  
日も総括質疑でした。

3日目からは常任委員会審査です。  
4つの委員会のトップは文教経済常任  
委員会です。いじめや不登校、奨学金  
の在り方などで審査が行われました。

昨年度、市内の小学校で「いじめ」  
として認知された件数は269件でし  
た。このうち、解消されたとした件数  
は206件です。委員からは、「解決  
に至らなかった残りはどうなったか」  
「いじめ件数はあまりにも多い。人数  
を増やすなど人的な体制を強化するべき  
ではないか」などの質問が出ました。  
市教委は、「年度の後半のものは年

度をまたぐこともあるが、学校問題解  
決支援プロジェクトチーム（JAS  
T）で対応している。見放されること  
はない。継続して対応するものは、別  
に資料を持っている」「JASTのメ  
ンバーに臨床心理士を入れるなど一定  
の改善してきた。」「意見を参考にさ  
せていただく」「必要な人員は配置し  
なければならぬ」という視点を持つ  
て、できるかぎり対応していきたい」  
とのべました。

奨学金問題では、委員から、「返し  
たくても返せないという実態がある。  
実態を調べてきめ細かな対応をしてほ  
しい」「市のホームページを充実して  
もらいたい」「従来の発想を変えて、  
誰にでもすすめられる制度にするべきで

は、



【ヌルデ】ウルシ科の落  
葉小高木。漢字で「白膠  
木」と書きます。ウルシ  
の仲間だけあって、かぶ  
れるひともあります。幹  
を傷つけ、白い汁を溜  
め、塗料に使った時代も  
あったようです。花期は  
8月～9月です。白色の  
小さな花をたくさん咲か  
せます。花言葉は「信  
仰」「壮麗」。写真は9  
月3日、吉川区代石にて  
撮影しました。

## 商工・観光分野でも 活発な議論展開

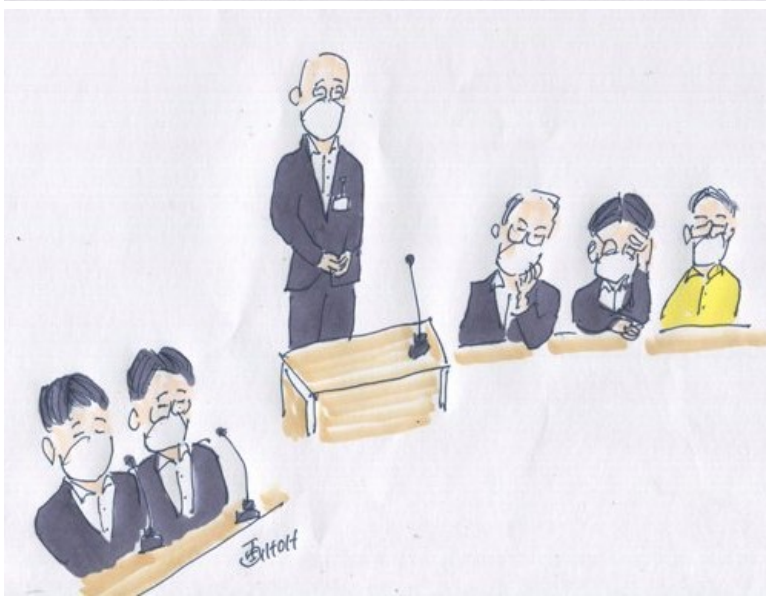
市川教育部長は、「総合的な研究を  
しながら、より良い制度にしていき  
たい」と答えていました。

### 商工振興では、産業団地をさら に造って企業誘致をという意見がある なかで、日本共産党議員団の上野委員 が、地元企業を大切にしたい内発型 発展を重視すべきだと訴えていまし ました。空き店舗は高田で23、直 江津で11あることが明らかになり ました。住居と一体 のところがないところがあるん ですね。観光交流の分野では、リー ジョンプラザ協の観光物産セン ターについて質

問が出て、市側は、「観光物産セン  
ターのありかたを検討する時期に  
来ている」とのべていました。観光  
の価値を高めるために、しゃれた  
デザインで、トイレに入って気持ち  
良くなるような「日本一きれいな  
トイレ」という提案も出ました。以  
前、日本共産党議員団が、早くバ  
リアフリーのトイレにと提案しま  
した。この視点も大事ですね。

このほか、越後田舎体験事業で  
の参加団体からの声の聴取の必要  
性、道の駅の駅長の発信力などが  
取り上げられました。

（私のブログ、「ホーセの見て  
ある記2」は現在、更新不能とな  
っています。原因を究明中）



エッセイ集  
**顔こしらえ**

橋爪法一

この本を読むと、  
気持ちがやさしくなります。

知活舎

日々の暮らしのなかの小さな幸せ  
にスポットをあてたエッセイ集（8  
冊目）を出しました。今回もアマ  
ゾンからの発売です。定価は税込み  
で1495円。ご希望の方はアマゾン  
に直接注文するか、私の携帯（090-  
5392-1961）までお知らせください。

# はしづめ法一の 活動レポート

**No.2076 2022.9.11**  
発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず  
Tel 025-548-3628  
通じないときは 090-5392-1961  
E-mail hasiznyg\_0808@yahoo.co.jp  
URL <http://www.hose1.jp/>

ブログ  
「ホーセの見て  
ある記」は  
← こちら

橋爪法一 検索

# 春よ来い

## 第七二三回

## 赤とんぼ(2)

先日の夜遅くのことでした。仕事を終え、事務所から家に帰ろうと、車のドアを開けて座ったところ、赤とんぼと一緒に乗りこんでいたことがわかりました。

入ったのは一匹です。翅(はね)を動かして、あちこちのガラスにぶつかってしまっています。「これはめずらしい。夜遅い時間でもいるんだ」そう思って、スマホのカメラを使って写真に収めました。

写真は私の腕にとまったところで撮影したのですが、車内の明かりの関係からか、翅が左右三枚ずつあるように見えて、ひよっとしたら、珍種かなと思いました。

そのうち、赤とんぼは私の胸にしっかりとつかまって動かなくなりました。どうしようか迷ったのですが、そのまま車を走らせ、家の玄関前まで走りました。

わが家に着き、車を止めたところ、赤とんぼは私の胸から離れました。そのとき、ドアを開けたものだから、赤とんぼは外に逃げ出したものと思っていました。

ところが、翌朝になっても、その赤とんぼは車の中にいたのです。飛び回りすぎて疲れたのでしようか、ほとんど動かなくなっていました。翅の数が気になっていたので、車の中で赤とんぼをよく見ると、翅は左右二枚ずつでした。やはり、光のいたずらだったんですね。

赤とんぼは、すっかり元気をなくしているようにも見えましたので、前日、赤とんぼが車に乗り込んだ場所の近くまで行き、草の上にそっと置きました。すると、なんとこのことでしょうか、さっと飛び上がり、どこかへ飛び去ったのです。

赤とんぼは、この数日前から近くの田んぼでその姿を確認していました。ですから、いても不思議はないのですが、ただ、夜に見かけたという記憶は街灯の下くらいで、他にはありません。母の病状に大きな変化が起きたなど、何か、特別に私に知ら

せようとしたことがあったのではないかと思いました。でも、それは考えすぎだったようです。病院からはその後、何も連絡は来ませんでしたから、ホッとしました。

それにしても、赤とんぼは何故、私の胸にしがみついたのか。「偶然ですよ」と言われれば何も反論できないのですが、私には偶然とは思えないことがいくつか起きていたのです。

じつは昨年の秋、何回か、赤とんぼが私の胸にとまることを体験していました。それも一匹や二匹ではないのです。多い時には五匹も私の胸にとまったことがあります。しかも、すぐに飛び去ることもなく、しばらくつかまっていたままでした。

この様子は写真にも撮って記録し、全国に発信しました。その時、全国の多くの人から、「もしかして、体にトンボが好きなもの張り付けていませんか」「素敵なバツジを、しかもたくさん!」「不思議な魅力感じるのかな」「すごいですね、女性とんぼの軍団ですか」「これ、珍百景に応募してください。登録は確実です」「露濡れし幼き胸に赤トンボ」などのコメントをいただきました。

今回、夜中の赤とんぼの様子などを目にして、改めてどういうときに赤とんぼが私の胸にとまったかを考えてみました。

共通だったことは、いずれも私のシャツにとまったことです。なぜかズボンにはとまっていないのです。そしてシャツは、私が普段着として愛用している縞模様のシャツだったのです。

赤とんぼは縞模様の柄が気に入ったのかも知れません。でも、この時、私が思ったのは、私の「におい」がシャツにしみ込んでいるからではないかということです。もしそうなら、高齢の体から出る「におい」は嫌なことばかりではないということですね。赤とんぼたちよ、ありがとう。

## 上越の魅力を描いた水墨画

頸城区花ヶ崎のさくら会館で開催されている笹川春艸墨画展へ行ってきました。会場では頸城三山とハサ木の絵など雪国・上越を描かれた作品に惹かれました。幸運にも笹川先生ともお会いし、ローマ法王が観られたという有名な屏風絵、「松寿千年」をめぐるエピソードなどを語っていただきました。感動の時間でした。



## 上越地域各消防署における空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	8月31日(水)	9月7日(水)
上越南消防署	0.057	0.057
上越北消防署	0.047	0.040
新井消防署	0.043	0.050
頸北消防署	0.053	0.053
頸南消防署	0.057	0.063
東頸消防署	0.040	0.040
名立分遣所	0.057	0.063
高士分遣所	0.047	0.053

## 善長寺の掲示板

吉川区にある浄土真宗本願寺派寺院・善長寺の掲示板が替わりました。あなたが笑うと花になる。見ている私も花になる。みんなで咲かそう笑顔の花を。平易な言葉だからこそ身近に訴えるものがあります。それに加えて、折り紙で制作したお月さんとそのなかのウサギさん、稲の茎、穂の形が素敵です。

